

拠出金名:国連人道問題調整部拠出金

国際機関等名	国連人道問題調整部 (英文名称・略称) United Nations Office for the Coordination of Humanitarian Affairs(UNOCHA)				
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	外務省国際協力局緊急・人道支援課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成21年度	462,257	4,488		1米ドル = 103円	100
平成20年度	281,136	2,488		1米ドル = 113円	100
平成19年度	144,300	1,244		1米ドル = 116円	100
当該拠出金の目的・用途等		人道支援活動の調整業務の強化			
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2009年のもの)				国際機関等の財政 (2009年決算)(米ドル)	
	国 名	金額 (千ドル)	拠出率(注) (%)		
1位	スウェーデン	22,382	15.3	当該年の収入 342,290,056	
2位	英国	19,548	13.4	当該年の支出 207,567,254	
3位	米国	17,753	12.1	次年への繰越 134,722,802	
4位	EC	17,695	12.1	会計検査機関名	
5位	ノルウェー	10,478	7.2	国連会計検査委員会 (UN Board of Auditors)	
日本は18位、拠出率は1.6%(2,488千ドル)。				(現在の構成員の出身国:英、南ア、中)	
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
国連人道問題調整部(OCHA)は、従来国連諸機関によって個別に行われてきた人道支援活動の調整を主たる任務としている。このような調整機能は、世界各地において大規模な自然災害や紛争等が発生したときに、UNHCR、WFP、UNICEF等の国連人道機関や赤十字、NGO等の専門機関の知見・経験等を有効且つ効果的に活用するために重要である。また、OCHAはこのような目的のために、NY、ジュネーブ及び現地で調整会議を開催し、情報収集・管理・提供を行い国連統一アピールをとりまとめ発出している。この情報は、我が国が緊急人道支援を決定し実施するに当たり重要な役割を果たしている。更に、人道支援分野の政策立案や人道問題担当事務次長を中心とするアドボカシー活動は、国連のみならず国際社会全体における人道支援活動に大きな影響を与えている。 最近では、収支状況をより正確に把握し、財政管理の透明化を図るべく、各種基金アカウントの整理統合を行い、2003年より包括的な活動・収支報告書を作成している。2005年以降、国連事務総長報告の人道支援システム改革を受けて、総会等でOCHAの機能について、より緊急人道支援活動を行えるような改革が進められており、CERFの設立はその成果の一つである。 なお、OCHAは、過去数年間、活動経費が不足し赤字が続いており、ドナーベースを拡大すべくアドボカシー活動等を強化している。また、NY事務所とジュネーブ事務所の業務の重複を避けるための機構整理を実施している。					
邦人職員数 うち幹部以上	12 人 うち 0 人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率		547 人 2.2 %	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
(1)国連代表部内に、「国連邦人職員増強・支援委員会」を設置し、邦人職員の採用、昇進の働きかけ、フォローアップを強化。 (2)国連職員採用競争試験(若手職員)合格者増に向け、引き続き応募を奨励する。					

(注)我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。